

令和 4 年度 事業報告書

＝ 誰もが安心して暮らすことができる 福祉のまちづくり ＝



社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告

《概要》

- 新型コロナウイルス感染症の発生から3年、コロナ禍を原因とする生活困窮者世帯をはじめ8050世帯やダブルケア、ヤングケアラー等の複雑多様化する問題が社会的な課題となっている昨今、収入減少等の方々を対象とした緊急小口資金等特例貸付は令和4年9月末で終了となった。しかしながら、従来の生活に戻れていない世帯もあり、相談支援、フードドライブ運動等の支援が継続されているところである。
- 第3次地域福祉活動計画は最終年度を迎え、過去4年間の活動について評価・検証を行ってきた。第4次地域福祉活動計画は、5年先・10年先を見据え、『安心して暮らせる「我が家」のような地域づくり』のビジョンを引継ぎ、市の地域福祉計画との関連性を持ちながら、幅広い関係機関・団体等との連携を強化し、包括的・重層的な支援体制づくりの構築を盛り込んだ計画とした。
また、浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会の取り組みとして、寄り添いつながる場「よつば相談窓口」を立上げ、分野を超えた法人連携の体制づくりに努めてきた。
フードドライブ運動による食材提供や、地域住民による地域子ども食堂の活動等、住民による支え合い活動も増えてきたところである。
コロナ禍により、改めて認識することができた「人と人とのつながり」や「他者への寄り添い」の大切さを様々な角度から地域住民に伝え、我が事として関心を高める啓発を行ってきた。
- 介護保険等事業においては、特に浜田支所において居宅介護支援事業所を廃止したこと、また新型コロナウイルス感染拡大が大きく影響し野原、杉の森デイサービスともに長期の休業期間があったこと等もあり、収支状況の改善は困難な一年となった。そうした中で、新たに浜田野原デイサービスではリハビリサービスを開始しPRの強化を図るなど再度巻き返しの取り組みを進め、新規利用者は前年度比大幅な増となっている。一方で三隅支所杉の森デイサービスについては、令和5年度において浜田市から建物の無償譲渡を受け、引き続き事業実施していくこととしたことから、事業所の運営について職員一同一層我が事として取り組んでいくよう促し、諸準備を進めてきた。しかしながら本会の財政状況を鑑みると、各事業の運営体制について大きく変革が必要な時期となっている。
- 地域包括支援センターにおいては、4月から新規事業として開始し、本事業の原点ともいえる総合相談について相談者に寄り添い、最善の支援をコーディネートできるよう一件一件と大切に向き合い対応することに注力しつつ、福祉の施策の方向性を意識しながら浜田市や各関係機関団体等とのネットワークを深め、事業を推進してきた。職員一同各種研修に積極的に参加し制度についての認識を深め、支援のスキルを高めるよう日々取り組んでおり、地域包括ケアシステムの構築に向けその一端を担うことができるよう努めてきた。
- 経営においては、厳しい現状は変わらず、介護保険事業も前年度同様に新型コロナウイルスの影響も含め、改善に至っていない。そうした中で、課題としていた「経営等改善計画」の策定については、検討委員会を立ち上げ、課題抽出・改善内容を検討し、「会費増収」「採用計画及び本所・支所体制・業務の見直し」「福祉基金の一元化及び取崩抑制」を大きな課題として掲げ、5年間を目標とした計画を策定した。次年度以降、計画項目及び内部検討による事業・業務の見直しを含め、早急に取り組んでいく。また、介護保険事業においても「介護保険事業推進計画」及び「介護保険事業の方向性」を踏まえ、併せて改善に向けて取り組みを進める。

以上の概要を踏まえ、事業内容を次頁以降報告し、分析・検証しながら、引き続き地域福祉推進に向けて取り組みたい。

《 重点目標 》

1. 安心、支えあい、つながり合う地域づくりの推進
2. 一人を丸ごとで支え、断らない支援体制づくり
3. 本人に寄り添い、自立に向けて地域と連携した介護サービスの展開
4. 頑張る人や地域を支え続ける支所であること
5. 総合力強化のための組織の体制強化

1. 地域福祉推進に向けた取り組み

第3次地域福祉活動計画

地域福祉ビジョン

「安心して住み続けることができる『我が家』のような地域づくり」

～5年後、10年後も安心の「我が家」のような地域づくりを進めよう～

令和4年度は、第3次地域福祉活動計画の最終年度でもあり、過去4か年の進捗状況を確認し、第4次地域福祉活動計画の策定に向け達成できていない項目について検証を進めてきました。計画通りの地域づくりにまでは至りませんでした。生活支援コーディネーター中心に地域に出て住民と関わりを持ちながら、地道なゆるやかな活動発信をすることにより、様々な気づきやゆるやかな見守り・つながりの意識醸成が広がり、『我が家』のような地域づくりに向け少しずつ進んできたところです。

(1) 第3次地域福祉活動計画の実行（5年目）

①支え合いの地域づくり推進のためのあらゆる取り組みを推進

- *見守りネットワークの合意形成 *集いの場の充実 *支え合い活動支援・充実
- *大人の福祉教育の推進 *福祉委員活動の充実 *民生児童委員・福祉委員の連携の促進 *ボランティアセンター機能強化
- *地域における地区社協組織の在り方検討
- *地域と専門職の連携促進
- *法人連携による地域支援促進 他

②ゆるやかな見守りからつながり、支え合いに向けた取り組み

③小地域福祉活動計画策定に向けた支援（未策定地区への策定支援）

④相談窓口の充実と他機関との連携による支援

法人ネットワーク連絡会加入法人によるよつば相談窓口開設



(2) 第4次地域福祉活動計画の策定にむけた取り組み

①地域福祉活動計画策定委員会（6/8、2/6、3/7）

②計画に向けた内部協議（7/25、7/28、8/25、10/17）

活動目標5 「地区社会福祉協議会の役割の再構築」

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進していくには、市社協だけでは限界があります。地域の生活・福祉課題や困りごとを自分たち自身の問題と受け止め、解決に向けて一緒に考え実行していくための地域の福祉力を高めていくには、地区社協を中心とし、福祉委員・民生児童委員といった支援者との連携・強化が必要です。また協働のまちづくり取り組みを進めているまちづくりセンター・地区まちづくり推進委員会等との連携も必要です。住民が無理なくかつ自主的に福祉活動の取り組みが推進できるよう支え合いの意識醸成に努めています。

(3) 地区社協活動支援

①社協・地区社協連携会議の開催

ア) 地区社協合同研修会の開催

7/7 28 地区社協会長他（民生児童委員含む） 52 名

* 周布地区社協合同防災訓練の取組み紹介

* 住民同士のつながり構築に向けた取組み紹介

* 「火災・防火」の講話、煙体験

イ) 地区社協会長・事務局長等会議の開催

【浜田】 7/4 13名出席 ・ 3/24 11名出席 【金城】 7/1 10名出席

【旭】 4/13 5名出席 【弥栄】 6/21 10名出席 【三隅】 4/25 12名出席

②地区社協活動推進助成金の交付（助成総額 26 地区 6,121 千円）



(4) 福祉委員活動支援

①福祉委員連絡会・研修会・民生児童委員との連絡会等の開催

ア) 浜田・旭・三隅福祉圏…各地区で開催

【浜田】 4 地区開催 227 名出席（民生児童委員・地区社協役員含む）

【旭】 5 地区開催 62 名出席（民生児童委員・地区社協役員含む）

【三隅】 6 地区開催 86 名出席（民生児童委員・地区社協役員含む）

イ) 金城・弥栄福祉圏…合同開催

【金城】 4/22 60 名出席、12/11 69 名出席（民生児童委員含む）

【弥栄】 5/24 24 名出席（民生児童委員含む）

ウ) 第3層圏域での民生委員・福祉委員連絡会開催に向けた調整と

地域への働きかけ

浜田福祉圏：石見地区（石見小・三階小校区）

長浜地区（長浜・熱田地区）

旭・三隅福祉圏：地区社協エリア実施（再掲）

※ 浜田福祉圏：小学校区・まちづくり・町内会・自治会エリア

金城・旭・弥栄・三隅福祉圏：地区社協・まちづくりセンターエリア



②福祉委員活動支援

- ア) ボランティア活動保険の加入(特定感染症重点プラン)
- イ) 積極的な情報提供と情報共有(職員や民生児童委員と顔が見える関係づくり)
- ウ) 選出地域(町内会・集落自治会等)への福祉委員設置目的等の周知及び柔軟な対応

(5) 地域福祉活動推進助成事業(1団体上限50千円・先駆的活動100千円)

- ①助成件数 13団体(内新規申請団体4件)
- ②交付額 660千円(30千円×2団体、50千円×10団体、先駆的100千円×1団体)

(6) 高齢者サロン立ち上げ支援助成事業(1団体上限30千円)

- ①助成件数 2団体(新規立ち上げサロン)
- ②交付額 60千円(30千円×2団体)

2. ボランティア活動と福祉教育の推進

第3次地域福祉活動計画

活動目標4 「浜田市ボランティアセンターの機能を強化する」

市民一人ひとりの参画を得るための入り口としてボランティア活動は有効です。関連事業と連携しながらボランティアセンター機能強化に向けた取り組みを進めています。複合的課題に対応していくためにも、各養成講座終了後はボランティア登録を促すとともに、これまで地域に関わることのなかった団体や企業へ出前講座等を活用してもらい、「見守り」や「生活支援」、「災害に備えた地域づくり」等、地域や住民の生活に関わる人を増やす取り組みを進めています。

(1) ボランティアセンター事業の推進

①ボランティアセンター運営委員会の開催(各支所)

【本所・浜田】8/22 9名出席、 3/16 8名出席 【金城】2/22 8名出席
【旭】1/27 10名出席、【弥栄】3/14 9名出席 【三隅】中止

②住民参加型有償ボランティア制度の利用促進(金城・旭・弥栄)

【金城】活動件数 11件 延べ 12名活動
【旭】 活動件数 4件(相談12件)延べ 60名活動
【弥栄】活動件数118件 延べ321名活動
(内シルバー 85件 延べ217名活動)

主な活動内容:草刈り、室内清掃、買い物、話し相手等

③ボランティア人材育成・養成の推進

ア) 災害ボランティア養成講座 【本所】7/7

地区社協・民生委員他52名(再掲)

イ) あいサポーター養成講座 【本所】9/13 10名



ウ) 認知症サポーター養成講座 【本所】 10/13 14名 【弥栄】 10/23 37名

エ) 手話入門講座「はじめての手話」 【本所】 2/17 11名

オ) 講演会 【旭】 1/27 26名

「集まることの大切さを知る～レクリエーション紹介」

講師：NPO 法人はとぽっぽ 理事長 棧敷 学 氏



カ) 高齢者サロンボランティアリーダー養成研修

【金城】 3/27 30名 「けん玉を通じて心も体も健康に!」

講師：けん玉王道六段 健康けん玉指導員 大坪 順 氏

【三隅】 3/6 11名 「いつまでも元気に過ごすための秘訣～サロンの活用」

講師：リハビリテーションカレッジ島根

作業療法学科作業療法士 山本 健 氏



キ) 夏休み子どもボランティア講座

(本所・旭・三隅) (児童青少年健全育成兼ねる)

④シニア応援隊事業の推進 【本所】 6/21・11/30 シニア応援隊会議 15名

⑤高齢者サロンへのボランティア活動支援 【三隅】 8地区 延べ115名

⑥個人・企業ボランティア活動促進・支援事業

ア) ボランティア活動支援

【浜田】 個人8件 延べ9名

【旭】 他団体へつなぎ4件

【弥栄】 個人1件

【三隅】 個人2件 延べ4名、団体15件 延べ106名



イ) 企業ボランティア活動推進【三隅】

三隅建築組合、三隅ガスセンターによる雨樋・排水マスの清掃等 6月

三隅・白砂地区実施

対象：70歳以上一人暮らし宅 16世帯 19か所

⑦ボランティア情報紙の発行と情報発信の強化

ア) ボランティア情報誌の発行

【浜田】 9月・3月発行 【金城】 7月・12月・3月発行

【旭】 10月・3月発行 【弥栄】 7月・11月・3月発行

【三隅】 4月・6月・8月・10月・12月・2月発行



イ) 情報提供機能強化

社協だより、ホームページ、フェイスブック、ブログ、いわみCATV、新聞報道、

他団体情報発信サイト、県社協情報発信サイト「しまそこ」等の活用



「いきがい・助け合いサミット in 東京」
優秀賞の受賞

しまねの社協活動情報発信サイト
しまそこ

「集いの場」全国フェスティバル
ポスター出展

※その他高齢者・障がい者・児童青少年健全育成関連項目に記載

(2) 災害ボランティアセンター強化事業の推進(平常時の取り組み)

①GIS (地理情報システム) を活用した災害時要援護者台帳の整備

ア) 浜田市民生児童委員協議会との協働による台帳更新

民生児童委員定数 175 名中 台帳完成渡し済み 171 名

②災害時におけるボランティア支援に関する協定

6/14 (火) 浜田ライオンズクラブ 及び 浜田亀山ライオンズと本会との調印式実施



第3次地域福祉活動計画

活動目標2 「『他人事』を『我が事』にするための福祉教育を進める」

児童生徒に対する福祉教育が、車いす体験や高齢者疑似体験で終わるのではなく、思いやり、支え合いの心、命を大切にすることにつながるよう取り組んでいます。また今日的な課題解決のための福祉活動の充実を図るため、大人の福祉教育についても、支え合いや見守りといった「日常生活での小さな心がけ」による取り組みの大切さを意識することで、様々な気づきや学びが深められ「こんな地域にしたい」という意識醸成につながるよう、様々な場所や手法を使って「見せる化」による「大人の福祉教育」を進めています。

(3) 福祉教育推進事業

※ 事業の一部に福祉の学び合い推進事業(県社協補助金)を活用

①各学校等福祉教育の取り組み支援

ア) あいサポーター研修・車いす体験・ブラインドウォーク体験等

【浜田】	7/13	浜田東中 2 年生	48 名	あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
	10/5	石見小 4 年生	54 名	あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
	10/6	三階小 3 年生	38 名	あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
	10/12	浜田高校 2 年生	155 名	HIRAKU-PBL・ゆるやかな見守り
	2/22	周布小 3 年生	36 名	あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
【金城】	12/ 9	波佐小全校生徒	12 名	あいサポ・ユニバーサルデザイン
【旭】	8/19	旭中 2 年生	16 名	あいサポ・福祉施設体験
【弥栄】	5/20	弥栄中 3 年生	5 名	弥栄町の福祉の現状(総合的な学習)



- 6/13 弥栄中 3 年生 5 名 生徒との意見交換 (総合的な学習)
- 12/19 弥栄小 3・4 年生 15 名 簡単な手話講座
- 12/20 弥栄小 3・4 年生 15 名 簡単な点字講座
- 2/13 弥栄小 3・4 年生 15 名 簡単な点字講座
- 3/6 弥栄小 3・4 年生 15 名 盲導犬について
- 【三隅】 7/29 岡見小 3・4 年生 17 名 あいサポ・福祉教育
- 10/28 岡見小 3・4 年生 17 名 総合的な学習の時間「福祉教育」

イ) 障がいスポーツの体験と理解促進

ボッチャ・車いすバスケットボール・ブラインドサッカー体験交流

- 【浜田】 9/27 長浜小 3 年生 33 名 ボッチャ
- 11/25 第四中 全校生徒 13 名 車いすバスケットボール
- 2/3 長浜小 3 年生 33 名 ブラインドサッカー
- 【旭】 8/5 今市小児童クラブ 全学年 39 名 ボッチャ
- 【三隅】 2/9 三隅中 1 年生 26 名 車いすバスケットボール

② 保育園・幼稚園・小・中学校へ福祉教育推進助成金の交付 (助成総額 1,102 千円)

保育園 4 園、幼稚園 4 園、小学校 14 校、中学校 8 校

③ 地区まちづくりセンターを核とした福祉教育推進助成金の交付【三隅】

(助成総額 633 千円)

④ ふくしの学び合い推進事業 (県社協助成事業)

地域を基盤に市民一人ひとりのライフステージや生活場面に応じた「ふくしの学び合い」を通して、福祉への関心や心の醸成を図る

* 介護の基礎的講座実施に向けた講師の依頼と登録の更新
(老人福祉施設協議会と協働)

11/18 旭 中学校 3 年生 21 名 (旭豊福祉会)

2/7 金城中学校 3 年生 27 名 (かなぎ園)

* 三隅中 1 年生総合的な学習「地域インタビュー」において、地域で働く一員として、社協のしごと、就職するきっかけ等インタビュー形式でトーク

* 見守り・つながり・支え合いの地域づくりに向けた意識醸成

「ゆるやかなつながり大発表会」の開催

11/30 いわみーる 約 100 名参加

- ・ゆるやかなつながり活動事例集の作成
- ・ゆるつな活動 実践者から発表
- ・ゆるつな缶バッジを配布し啓発の推進



⑤ 大人の福祉教育 (ふくしの学び合い) においては、住民座談会や高齢者サロン、地域の集いの場へ「ふくし出前講座」として出かけ、動画や漫画、ゲームを活用するなど、分かりやすく住民に伝える工夫に努めた。(地区社協や地区まちづくりセンターと連携)

- ア) 出前講座の実施 100件
 【浜田】21件、【金城】4件、【旭】24件、
 【弥栄】2件、【三隅】49件



- イ) 住民座談会の開催（弥栄）
 ウ) 支え合い啓発パネル展示（浜田市立中央図書館、浜田市総合福祉センター）
 エ) 個別支援を地域課題として取り組む研修の実施（三隅）

7/7 井野地区公共交通運営委員会 17名参加 あいサポーター研修、ブライントウォーク

⑥学校・地区まちづくりセンターとの福祉教育推進連絡会開催【三隅】

- *5/18・19 各学校訪問 担当職員3名
 *5/26 三隅保健センター 各まちづくりセンター職員6名
 （小・中学校は、コロナ感染症対策のため訪問説明に変更）

3. 高齢者支援事業

第3次地域福祉活動計画

活動目標1 「地域で『支えあいのまちづくり』を進める」

集いの場所や通いの場の拡充や生活支援の仕組みづくりを地域に働きかける取り組みを進めています。今ある社会資源の機能や地域力を最大限活用し、また現状に合った形に変化させていくことで、ゆるやかな見守り活動からゆるやかなつながり活動へ、そして人と人・人と地域がつながっていくよう取り組みを進めています。

(1) 生活支援体制整備事業の実施（市委託事業）

- ①第一層協議体・地区ささえあい協議体
 *第1回第一層協議体 3/6 10名参加
 ②第二層地区ささえあい協議体
 *第1回（6月）・第2回（12月・1月）



10地区（浜田・石見・長浜・周布大麻・美川・国府・金城・旭・弥栄・三隅）

ア) 集いの場の拡充と生活支援に向けた取り組みについて

イ) 住民同士のつながり強化に向けた取り組みについて

③生活支援コーディネーターの配置と活動の促進

（1層SC1名：正規職員、2層SC7名：嘱託職員専従配置）

ア) 引き続き集いの場空白地帯の解消へ向けた取り組みと

生活支援の仕組みづくりを進める取り組みの推進

イ) 地域・生活課題の把握と同時に地域資源の情報提供と既存資源の活用充実

ウ) ゆるやかな見守り・つながり・支え合いの意識醸成と活動への拡充

エ) 高齢者お役立ち情報「ちょこプラ」の啓発と情報の更新



オ) 生活支援コーディネーター活動状況

【本所】 *相談 15 件 つなぎ 15 件
*地域へ出かける活動 41 件

【浜田】 *相談 66 件 つなぎ 26 件
*地域へ出かける活動 317 件 (内ふくっぴー出前講座 21 件)

【金城】 *相談 31 件 つなぎ 17 件
*地域へ出かける活動 112 件 (内ふくっぴー出前講座 4 件)

【旭】 *相談 15 件 つなぎ 7 件
*地域へ出かける活動 134 件 (内ふくっぴー出前講座 24 件)

【弥栄】 *相談 8 件 つなぎ 7 件
*地域へ出かける活動 54 件 (内ふくっぴー出前講座 1 件)

【三隅】 *相談 28 件 つなぎ 26 件
*地域へ出かける活動 86 件 (内ふくっぴー出前講座 48 件)



④高齢者サロン活動支援

ア) レク用具の貸出

イ) 高齢者サロン運営相談支援 (立ち上げ支援)

⑤ふくっぴーサロンの開催【浜田】

*13 会場 月 1 回 124 回 延べ 1,398 名参加



(2) 介護予防普及啓発事業 (市委託事業)【本所】

①介護予防コーディネーターの配置 (嘱託専従配置)

②介護予防教室新規立ち上げと評価

③百歳体操・認知症予防等のフレイル予防の普及

*百歳体操の新規立ち上げ 及び 取り組み支援

*百歳体操に係る体力測定の実施

*百歳体操の効果分析・評価

④介護予防に資する他機関との協働

*まちづくりセンターを活用した介護予防普及啓発

石見まちづくりセンターにおける暮らしの保健室のコーディネート

周布まちづくりセンター・いのまちづくりセンター介護普及啓発

*厚生労働省主催による通いの場自慢コンテスト応募：浜田弁ラジオ体操やってみよー会

*ケーブルテレビを活用した介護予防体操

(ふくっぴー体操) の啓発

*ささえあい協議体での情報発信



(3) 浜田市地域包括支援センター事業 (市委託事業)【新】

①総合相談支援業務

高齢者の各種相談を幅広く受け付けて、制度横断的な支援を実施

②権利擁護業務

成年後見制度等の活用促進、高齢者虐待の疑いへの対応

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談や支援困難事例等への指導・助言

*相談受付状況（相談実件数）

高齢者福祉サービスに関すること	42件
高齢者虐待（相談）に関すること	1件
成年後見制度等に関すること	19件
困難事例の相談	9件
個別ケア会議	28件
その他（在宅サービス・住まいや施設・その他）	945件
合 計	1,044件

*相談受付状況（相談受付延件数（R4.7月～R5.3月実績））

電話受付	来所相談・その他	合計
2,200件	954件	3,154件

*相談対応延件数（R4.7月～R5.3月実績）

電話	3,570件	メール・FAX	462件
訪問	1,491件	合計	5,523件

*会議等参加状況

・関係会議への出席状況 延 283 回（民児協・事業所運営会議・サロン・協議体他）

*職員の資質向上を目的とした研修受講

各種研修会 44 件に延べ 67 名参加

④介護予防ケアマネジメント業務

*介護予防支援事業所の運営

- ・市内居宅介護支援事業所との委託契約件数 35 事業所
- ・予防プランの取扱い：合計 9,442 プラン（月平均 787 プラン）
- ・委託事業所からのプランチェック件数 823 件（R4.7月～R5.3 実績）

（4）高齢者の生活支援の取組み

①独居高齢者安否確認事業【弥栄ボランティアセンター事業】

*毎月1回電話確認 72世帯

②粗大ゴミ搬出支援事業【弥栄ボランティアセンター事業】

*11/19 支援世帯 5世帯 支援者 9名

③高齢者安心・安全生活推進事業【弥栄】

ア) 電動車講習会

*4/14 9名参加、9/21 18名参加 実技・講義

杵束地区 まちづくりセンター駐車場、安城地区 イベント広場



イ) 悪質商法撃退グラウンドゴルフ大会

*5/19 27名参加 特殊詐欺被害防止講義・グラウンドゴルフ交流 弥栄町運動広場

④歳末高齢者等支援事業（配食・友愛訪問・交流会）

【浜田】地区民児協による歳末友愛訪問活動等

【金城】12/23 手作り弁当配食・安否確認 90食

【旭】12/26 おせち料理配食・安否確認 106食

【弥栄】12/27 おせち料理配食・安否確認 111世帯

【三隅】地区社協等による歳末友愛訪問活動等



(5) その他の取り組み

①敬老事業

【浜田】長浜・周布社協主催記念品贈呈（敬老会はコロナ感染症拡大予防のため中止）

【金城】祝詞 米寿 55名、白寿 7名

【旭】祝詞 米寿 26名、卒寿 22名、白寿 1名、百歳以上 2名

【弥栄】祝詞 米寿 14名、卒寿 8名、紀寿 1名、百歳超 1名

【三隅】祝品・祝詞 米寿 58名、卒寿 46名、白寿 6名、百歳以上 5名



②一人暮らし高齢者交流会の開催

【金城】10/31 37名（支援者含む）

石見銀山世界遺産センター、大森町町並み散策他

【旭】10/5 和田 10名、10/6 木田 9名、10/14 都川 6名、

10/25 坂本・丸原 13名、10/27 今市 9名、10/28 市木 9名（支援者含む）

三隅火力発電所、ゆうひパーク浜田、買い物ツアー

4. 子育て支援・児童青少年の健全育成を目的とした事業

(1) 児童青少年の健全育成事業

①ボランティアスクール開催事業（再掲）

【本所】8/4 全市小学生4年生以上対象（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

*災害時炊出し体験 *防犯教室「いかのおすし」 *けん玉交流会

【旭】8/5 今市児童クラブ 39名 支援員・民生委員 11名

今市児童クラブ、旭市民体育館、旭支所

*災害時炊出し体験 *ボッチャ競技体験 *「補助犬」について知る

8/19 旭中学校2年生 16名 教諭 2名

長寿苑、あさひデイサービス、旭支所

*あいサポーター研修 *福祉施設体験

【三隅】8/9 《岡見地区》岡見小児童クラブ 19名

指導員・センター職員 4名

岡見まちづくりセンター

*あいサポート体験学習、ゲーム



2/4 《三保地区》小学生等 9 名、保護者・スタッフ等 14 名
三保まちづくりセンター

* 炊き出し体験 * 焚火体験 * 防災グッズ展示・見学

《三隅地区》小学生等、保護者・スタッフ等

* 災害時炊出し訓練 * 車いす介助体験

* 防災士の講話、救助体験、煙体験

(8/4 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)



②青少年健全育成講座

【三隅】 ア) みすみっ子集まれ

8/6 81 名参加 (子供 50 名、保護者 31 名) 三隅まちづくりセンター

* イベントをとおした親子一緒にふれあい・学び合い

イ) 海で遊ぼうプロジェクト

10/22 26 名参加 (子ども 10 名、保護者等 16 名) 田ノ浦海岸

* 海の魅力・怖さを伝える講習会

* ヨガ・モルック・ビーチバレー交流

③小・中学校校長会支援事業 (弁論大会助成) 【本所】

④みすみ習字書初展助成支援 【三隅】

(2) 子育て支援事業

①子育てサロン・子育て広場の開催 (各支所)

【浜田】子育て広場の開催 (各地区)

* 開催回数 41 回開催 延 784 名

【その他の支所】子育てサロンの開催 (月1回) ※三隅支所隔月 (年6回)

* 金城) 延べ 87 名、旭) 延べ 38 名、弥栄) 延べ 17 名、三隅) 延べ 69 名

②異世代交流会 (文化伝承) 【三隅】 12/27 5 組 10 名 ミニ門松づくり

③チャイルドシート等貸出事業の実施

* チャイルドシート 5 件、ジュニアシート 3 件



5. 障がい者支援事業

(1) 聴覚障がい者の支援 (市委託事業)

①浜田市手話通訳者等・要約筆記奉仕員派遣事業

* 手話 50 回 (77 名派遣) * 要約筆記 9 回 (27 名派遣)

②浜田市専任通訳者設置事業

* 通訳業務 209 件

(手話: 内訪問 55 件、窓口 10 件、医療現場 55 件他)

③浜田市手話奉仕員養成事業

* 基礎編 25 回開催 延べ 322 名



- ④手話通訳者・要約筆記奉仕員等研修事業
 - * レベルアップ講座（手話） 4回開催 延べ35名参加
 - * レベルアップ講座（要約筆記） 4回開催 延べ17名参加

(2) その他の事業

- ①あいサポート運動推進事業（ボランティア人材養成兼ねる）
 - * 17回、433名受講（H23～R4年度 延266回、7,738名受講）
- ②入居債務保証支援事業（生活困窮者支援を兼ねる）



6. 高齢者・障がい者等の権利擁護事業

(1) 法人後見受任事業

- ①法人後見運営委員会開催
 - * 第1回 令和4年7月5日 8名出席
 - * 第2回 令和5年3月13日 8名出席
- ②市民後見人講演会開催
 - * 令和4年11月6日 25名出席
- ③市民後見人フォローアップ研修会の開催
 - * 令和5年1月22日 10名出席
- ④法人後見業務
 - * 受任13件(後見7名、保佐6名)
 - * 相談・対応件数923件



(2) 日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

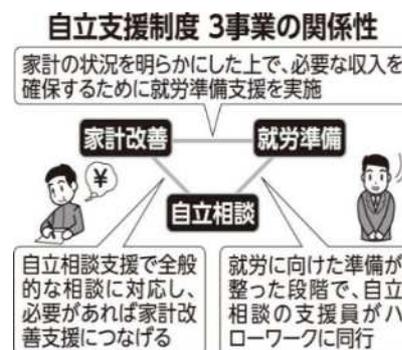
- ①利用者の定例支援（及び支援調整）
 - * 実利用件数67名(新規5名、終了6名)
 - * 福祉圏別件数 浜田50件、金城15件、旭0件、弥栄2件、三隅0件
 - * 相談対応件数3,857件
- ②生活支援員との連絡会・ケース検討会開催
 - * 浜田 令和4年12月12日 6名出席
 - * 弥栄・三隅 令和4年12月7日 3名出席
 - * 金城・旭 令和4年12月9日 3名出席



7. 生活困窮者の相談・支援事業

(1) 生活困窮者自立促進支援事業（市委託事業）

- ①専任相談員 5名体制
 - (正規職員2名、嘱託職員2名、パート職員1名体制)
 - * 新規相談件数169件(継続相談者数延955名)
 - * 相談対応件数(本人)3,104件、(関係機関)3,349件



②相談支援、法テラスとの連携

- ア) 自立相談支援(プラン決定 76 件、終結 44 件)
- イ) 家計改善支援(プラン決定 62 件、終結 46 件)
- ウ) 就労準備支援(プラン決定 2 件、終結 0 件)

③支援調整会議の開催

* 毎月開催(法テラス、ハローワーク、浜田市保護係、相談員)

(2) 低所得者を対象とした資金貸付事業

- ①生活福祉資金貸付(県社協)に伴う業務 * 貸付件数 39 件(内、コロナ特例 33 件)
- ②民生融金貸付事業(上限 50 千円) * 貸付 8 件、 償還 33 件
- ③緊急現金貸付事業(上限 10 千円) * 貸付 22 件、 償還 32 件

(3) その他の支援

①フードバンク事業

ア) フードドライブ(一人一品運動)

* 222 件 6,433 品

イ) 困窮者に対する食糧支援

* 156 件 5,998 品

②入居債務保証支援事業(障がい者支援を兼ねる)

* 継続 2 件

③自転車・カセットコンロ・炊飯器等の貸出し

④通帳等預かりサービス



8. 福祉に関する調査・広報活動

(1) 社協だよりの定期発行(隔月発行)

①地域のつながり・支え合い活動の紹介

(2) 社協ホームページの随時更新

①Facebook の社協ページの運用

②社協ブログの運用

(3) 県内社協情報共有による情報発信

(4) はまだ市民福祉大会開催

期日: 令和 4 年 8 月 27 日(土)

会場: 浜田市総合福祉センター 会議室

内容: 式典(表彰式)

* 新型コロナウイルス感染拡大防止により、
参加者を受賞者及び主催団体役職員並びに
来賓 8 名に制限



- * 社協会長表彰：個人 53 名、1 団体
- * 高連会長表彰：個人 7 名
- * 当日参加者：48 名（内受賞者 26 名、来賓 7 名）

- (5) 浜田社協未来塾（H S M）の活動推進
- ア) イベント参加 すくすく子どもまつり（10/22）
周布子育て広場カフェ（3/9）
 - イ) 未来塾会議開催（5/24、9/29、1/27）
- (6) 支所だよりの発行（ボランティア情報誌発行）再掲



9. その他の福祉サービス・活動

- (1) 交流拠点（ふれあいハウス利用貸出・管理）設置事業【弥栄】
- (2) 浜田市戦没者追悼式の開催
期日：令和 4 年 9 月 3 日（土）
会場：浜田市総合福祉センター 会議室 参列者 49 名
- (3) 家族介護者交流事業（浜田市委託事業）（弥栄を除く各支所で年間 2 回開催）
- 【浜田】* 第 1 回 認知症の人が見えている世界の VR 体験
&ほっこりカフェ交流 7/5（8 名参加）
 - * 第 2 回 アロマ&ハンド&ヘッドマッサージ
フラワーアレンジメント&ほっこりカフェ交流
2/20、3/6（16 名参加）
 - 【金城】* 第 1 回 絵手紙&臨床美術、ミニコンサート
9/27（18 名参加：民生委員含む）
 - * 第 2 回 講演 「口から健康に」 3/6（14 名参加：民生委員含む）
 - 【旭】* 第 1 回 寄せ植え体験、カフェタイム、交流・相談 9/7（7 名参加）
 - * 第 2 回 きんた農園ベリーネでいちご狩り 2/15（12 名参加）
 - * 月 1 回 サロン開催（フリースペース）10 月から実施（10 名程度）
 - 【三隅】* 第 1 回 やさしいヨガ体験&お茶の楽しみ方講座・情報交換
3/22（12 名参加：民生委員含む）



- (4) 生活支援サービス

- ①福祉用具貸出事業（車椅子等）※介護保険認定者は不可
- * 車いすの貸出 36 件（浜田 29 件、金城 2 件、旭 2 件、三隅 3 件）



(5) 総合相談事業

①心配ごと相談所（金城・旭・弥栄・三隅）、総合相談所（浜田）開設

【浜田】開設 24 回 相談 8 件 【金城】開設 12 回 相談 8 件

【旭】開設 12 回 相談 11 件 【弥栄】開設 12 回 相談 1 件

【三隅】開設 12 回 相談 0 件

②法律相談所設置（浜田を除く各支所を毎月順番に開催：12回）

*相談件数 17 件（金城 7 件、旭 6 件、弥栄 4 件、三隅 0 件）

③相談員研修（3/20） 60 名 総合相談員・民生児童委員・シニア応援隊

「傾聴の大切さについて」

～聴く技術を身につければ人間関係は必ず好転する～

講師：傾聴の会 まつえ一期 代表 藤田 智子 氏



(6) 福祉バス運行事業（車両 2 台体制）継続実施

令和 5 年度 1 台運行（社協所有）に向けた協議及び周知

運行状況 *1 号 84 回 1,008 名 2 号 63 回 867 名



(7) 来て見てなんでも作品展【金城】

サロン、趣味・愛好家や保育園等団体の手作り作品を展示

*令和 4 年 10 月 22 日（土）から 28 日（金）開催

*来場者：住民全般 460 名



第 3 次地域福祉活動計画

活動目標 6 「社会福祉法人連携による公益的な活動の推進」

すべての社会福祉法人は地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を行わなければならないとされています。

今年度、浜田市内において、住民が身近なところで気軽になんでも相談できる場所となるため、各法人連携のもと研修会を重ね、寄り添いつながる場『よつば相談窓口』を開設しました。

(8) 浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会の取り組み支援

* 監査会開催（4/15） * 正副会長会開催（5/9、1/31） * 定期総会開催（5/25）

* 分野を超えた相談窓口体制の確立・研修会の実施

第1回 担当者会議（7/20）雲南市法人連絡会取組み報告・演習

第2回 担当者会議（8/31）相談窓口のポイント・演習

第3回 担当者会議（9/29）よつば相談窓口開設に向けて



- 第4回 担当者会議（10/21）ヤングケアラーの現状とその支援について
* 寄り添いつながる場 よつば相談窓口開設式（3/1）

第3次地域福祉活動計画

活動目標3 「総合的・包括的な相談・支援体制に向けて」

活動目標7 「重層的な相談支援の体制・仕組みをつくる」

地域と行政や専門機関とをつなぐ接点をつくり、分野を超えて包括的な相談体制・支援体制を構築して行くことが必要であり、その仕組みについては関係機関との協議と合意形成が必要です。今あるネットワークが広がるよう、情報共有・協議の場の提供に取組みます。

（9）浜田市との連携会議の開催

- ①健康福祉部との包括的な支援体制に向けた会議の開催
- ②地域政策部、教育委員会との連携について

（10）社協内連携の推進

- ①地域福祉・生活福祉・介護福祉・包括支援センター連携会議の開催
 - ア) 事業内容の共有
 - イ) 事例検討から個別課題と地域課題の一体化によるしくみづくりの検討

10. 福祉関係団体・当事者団体支援

（1）島根県共同募金会浜田市共同募金委員会事務局

- ①共同募金運動の実施
- ②共同募金助成事務



（2）日本赤十字社島根県支部浜田市地区事務局

- ①赤十字運動月間 統一キャンペーンの事業開催
- ②赤十字奉仕団の支援と連携



（3）福祉関係団体支援

- ①浜田市民生児童委員協議会事務局支援・助成支援
 - ア) 単位民生児童委員協議会事務局支援・助成支援（金城・旭・弥栄・三隅）
- ②浜田市高齢者クラブ連合会事務局支援・助成支援
 - ア) 高齢者クラブ連合会支部事務局支援・助成支援（金城・旭・弥栄・三隅）
- ③浜田市身体障害者福祉協会事務局支援・助成支援
 - ア) 浜田市身体障害者福祉協会支部事務局支援・助成支援
- ④浜田市手をつなぐ育成会金城支部助成支援（金城）



(4) 関係団体支援

- ①保護司会助成支援（金城）
- ②少年補導委員会助成支援（金城）
- ③中国地区里親大会助成支援

(5) 当事者団体支援

- ①ことばを育てる親の会助成支援（三隅）
- ②一人暮らし高齢者の会事務局支援・助成支援（弥栄・三隅）
- ③しまね分かち合いの会（自死遺族の会）支援

11. 公共施設管理運営事業（浜田市指定管理）

(1) 指定管理施設の運営

- ①浜田市総合福祉センター
- ②浜田市金城高齢者生活福祉センター
- ③浜田市三隅デイサービスセンター ※令和5年度から市より無償譲渡



12. 介護保険事業等経営

(1) 介護保険・障がい福祉サービスの提供

- ①訪問介護の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ②訪問入浴介護の実施（浜田）
- ③通所介護の実施（浜田・三隅）
- ④障がい福祉サービスの実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ⑤共生型サービスの実施（浜田通所）

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の提供

- ①介護予防訪問介護（従来型）の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ②介護予防通所介護（従来型）の実施（浜田・三隅）
- ③訪問型サービスA（緩和型）の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ④通所型サービスA2（緩和型）の実施

(3) 介護保険制度外サービスの提供

- ①訪問自費サービス事業の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ②お持ち帰り弁当事業の実施（浜田・三隅）

(4) 市受託事業の提供

- ①移動支援事業の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））

(5) 介護保険事業等の状況分析及び改善に向けての対応

- ①経営改善に向けた柔軟な事業形態や人員配置変更の取り組み推進

- * 作業療法士の支援導入 * 事業所間での職員ヘルプ実施
- ②事業として必要とする介護人材の確保

(6) 法人内他部門との連携

- ①地域における高齢者サロン活動等の出前講座への協力
- ②地域との交流事業の実施

* 杉の森デイサービスセンターを活用した子育てサロンと
高齢者クラブとの畑を通じた交流 (三隅)



13. 財政基盤の強化

(1) 会員募集による自主財源の確保

- ①社協事業の魅せる化 (PR) を更に図りながら、会員の増員の促進

令和4年度 納入状況

ア) 社協会員	13,294,590 円 (16,619 世帯)	※世帯 800 円
イ) 賛助会員	1,667,000 円 (834 口)	※1 口 2,000 円
ウ) 特別会員	1,013,000 円 (203 口)	※1 口 5,000 円
エ) ふるさと会員	146,000 円 (73 口)	※1 口 2,000 円

(2) 効率的な事業推進と経営改善

- ①経営等改善検討委員会の設置及び計画策定

- ・ 令和5年度から9年度までの5か年計画を策定

- * 第1回 8/26 会長諮問、現状課題説明

- * 第2回 10/25 課題及び改善(案)について

- * 第3回 12/19 計画(案)について

- * 第4回 2/27 計画(案)について

- * 答申 3/15 会長へ計画(案)答申

- ※第5回理事会(3/17)に於いて計画承認

- ②職員内部検討会による課題把握、改善案の検討

- ・ 計画以外の事業等課題改善については、令和5年度で検討

(3) その他の取り組み

- ①福祉基金を財源とする運用財源の確保 (キャッシュフロー対応)

14. 職員体制の整備と資質向上

(1) 業務状況を見据えた人材確保

- ①地域包括支援センター事業等必要とする専門職の確保

- ・ 保健師又は看護師 3名応募 (募集人員 3名)

- ・ 主任介護支援専門員 1名応募 (募集人員 1名)

- ・ 社会福祉士 6名応募 (募集人員 若干名) ※内1名試験前に辞退

・事務・事業職員 6名応募（募集人員 若干名）※内2名試験前に辞退

※第1次採用試験 令和4年10月9日（日）

【教養・作文・面接（一部）試験】

※第2次採用試験 令和4年10月16日（日）【面接試験】

*採用予定者 保健師又は看護師 2名
主任介護支援専門員 1名（採用決定後辞退）
社会福祉士 2名
事務・事業職員 1名

（2）職員の資格取得の促進

①職員へ助成要綱等の周知

（3）職員研修体系に基づく計画的な研修の実施

①人権同和・安全運転・ハラスメント・メンタルヘルスケア研修

- ・役員対象に人権同和研修（DVD視聴）実施
- ・外部研修等へ参加し、内部研修は新型コロナの状況を見ながら時期を検討したが実施できず、令和5年度当初で実施予定

②専門的知識・意識向上の研修参加（各部署必要研修参加）

（4）ヒヤリハット報告、事故報告に基づく検証と業務改善に向けた周知徹底

①苦情受付 1件

事業	状況
地域包括支援センター事業	民生委員から担当地区の高齢者問題について相談したが、その後の対応がないと苦情があり、民生委員宅へ伺い状況を確認。今後、必要に応じて関わっていくことを報告し、納得いただく。

②ヒヤリハット報告 9件

事業	状況
地域福祉事業	広報掲載の写真（人物）について、ご本人たちに了承は得ていたが、配慮の必要な方が写っていることが編集の段階で把握できず印刷、配布するところだった。 配布準備中に職員が気づき、再確認し、全部数回収・焼却した。
訪問介護事業	利用者宅で、入浴準備のため湯温の調整をしていたが、浴槽の底部分の湯温が高く、利用者が入ってすぐに足を出された。（薪による五右衛門風呂風）
通所介護事業	利用者を迎えに行った時、利用者のカバンに気付かず、忘れたままサービスセンターへお連れした。
	利用者がトイレから戻られイスに座ろうとしたら転倒され右肩を打たれた。（本人受診を拒否され、家族へ様子を見ていただくようお願いし、特に痛みもなく状態は変わらなかった）

	利用者が脱衣場でイスに座ろうとしたら、イスの脚が不安定になっていたことで転倒され、胸部を打たれたがケガはなし。
	利用者を迎えに行き、台所勝手口で利用者の靴を取ろうと利用者から離れた時に、利用者がバランスを崩され流し台の取手に当たった。
	利用者に持って帰っていただくお持ち帰り弁当が、違う利用者に入れ替わっていた。
	利用者を迎えに行き、利用者宅へ置いておく鍵をデイサービスセンターまで持ち帰った。
	昼食時、食事の中に使い捨て手袋の切れ端が入っていた。

※ヒヤリハットについては、随時及びミーティング等で情報共有し、今後の対応を講ずる

③労働災害 なし

④介護等事故 3件

事業	状況
通所介護事業	昼食後、利用者が昼寝をしようと和室へ向かわれ、段差で転倒し左脇腹を打たれ、左肘に切り傷。受診され骨折の診断。(本会加入保険で対応)
	レクリエーション時に利用者が方向転換される時に、イスに足が引っ掛かり転倒し、左脇を打たれる。受診され、骨にひびが入っていると診断。(本会加入保険で対応)
	入浴前に利用者がトイレに行かれ、独歩で移動可能な方であったため職員はつかなかったが、トイレ前で転倒されており、右頭部打撲で内出血があり、その後右股間部の違和感を訴えられる。受診でひびが入っている可能性を指摘される。(本会加入保険で対応)

⑤車輛事故 7件

事業	状況
総務・地域福祉等事業	銀行の駐車場で、満車のため切り返しをした時に駐車場の柱と車輛右側後部が接触。(本会加入保険対応)
	銀行の駐車場から出ようと道路車輛確認するため停車していたら、道路の反対側建物に駐車していた車両がバックしてきて、車輛右側運転側ドアに相手車輛の後部が接触。(本会及び相手加入保険対応)
	業務で葬儀場へ行った時、帰ろうとバックした際、看板に気付かず左側テールランプ付近接触。(本会加入保険対応)
地域包括支援センター	利用者宅から帰る時、左前輪が利用者宅外階段の一部に接触。(本会加入保険対応)
	センター前駐車場に駐車していた公用車にバックをしてきた車輛が左側前部へ接触。(相手加入保険対応)

通所介護事業	送迎時に利用者宅前の橋を渡る時に車輛左側前部がガードレールに接触。(本会加入保険で対応)
	利用者を迎えに行く際、一時停車時に電信柱に接触し、助手席側ドアミラーを破損。(本会加入保険で対応)

(5) 職員の心身・健康増進に向けた取り組み

- ①ストレスチェック (未実施) ※実施体制 (委員会) を見直し、次年度早い時期に
- ②専門家 (カウンセリング、産業保健総合支援センター等) のサポート支援
* 意向により個別対応

(6) その他

- ①一般事業主行動計画実現に向けた職員体制
 - ア) 週1日の「ノー残業デイ」の継続及び有給休暇年間10日以上取得促進
* 管理職及び総務課等で状況を把握し、業務を調整しながら取得促進。
* 全職員5日以上有給休暇取得
 - イ) 仕事と生活 (育児や介護)・医療との両立ができるよう職場環境の整備
* 職員1名育児休暇・復帰 (育休代替職員対応)
- ②フレッシュマン (指導担当者) 制度による職員の指導及び育成 (2年目継続)

15. 組織の充実

(1) 会議の開催

- ①正副会長会の開催 (5回)
- ②理事会、評議員会の開催 (理事会5回、評議員会3回開催)
- ③監査会の開催 (監査会2回、内部監査2回)
- ④部会の開催 (法人運営部会2回、地域福祉部会2回)
- ⑤委員会の開催 (地域福祉活動助成金審査会2回、VC運営委員会2回、
地域福祉計画策定委員会4回、法人後見運営委員会2回)
- ⑥各福祉圏福祉のまちづくり推進会議の開催 (各2回開催)
- ⑦内部会議の開催 (企画調整会議、係長会議、経営会議、事業会議【定例又は随時開催】)